

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信	
信託期間	2022年12月14日まで（2013年2月18日設定）	
運用方針	AMP 米国ハイインカムリートマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の不動産投資信託証券に実質的な投資を行い、値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。マザーファンドの不動産投資信託証券等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビーファンド	AMP 米国ハイインカムリートマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	米国の不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ／AMP 米国ハイインカムリートファンド ＜為替ヘッジあり＞（毎月決算型）

愛称：アスリート



第89期（決算日：2020年7月14日）
 第90期（決算日：2020年8月14日）
 第91期（決算日：2020年9月14日）
 第92期（決算日：2020年10月14日）
 第93期（決算日：2020年11月16日）
 第94期（決算日：2020年12月14日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ／AMP 米国ハイインカムリートファンド＜為替ヘッジあり＞（毎月決算型）」は、去る12月14日に第94期の決算を行いましたので、法令に基づいて第89期～第94期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			投 資 信 託 券 率 組 入 比	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 期 騰 落 中 率		
	円		円		%	百万円
65期(2018年7月17日)	9,200		50		2.3	789
66期(2018年8月14日)	9,108		50	△	0.5	758
67期(2018年9月14日)	9,258		50		2.2	732
68期(2018年10月15日)	8,541		50	△	7.2	658
69期(2018年11月14日)	8,818		50		3.8	665
70期(2018年12月14日)	8,555		50	△	2.4	624
71期(2019年1月15日)	8,244		50	△	3.1	602
72期(2019年2月14日)	8,822		50		7.6	635
73期(2019年3月14日)	8,874		50		1.2	621
74期(2019年4月15日)	9,012		50		2.1	600
75期(2019年5月14日)	8,961		50	△	0.0	582
76期(2019年6月14日)	8,978		50		0.7	583
77期(2019年7月16日)	8,904		50	△	0.3	565
78期(2019年8月14日)	8,932		30		0.7	566
79期(2019年9月17日)	9,107		30		2.3	571
80期(2019年10月15日)	9,178		30		1.1	581
81期(2019年11月14日)	9,165		30		0.2	581
82期(2019年12月16日)	8,927		30	△	2.3	556
83期(2020年1月14日)	9,035		30		1.5	562
84期(2020年2月14日)	9,053		30		0.5	547
85期(2020年3月16日)	6,981		30	△	22.6	418
86期(2020年4月14日)	6,701		30	△	3.6	402
87期(2020年5月14日)	6,242		30	△	6.4	375
88期(2020年6月15日)	7,134		30		14.8	428
89期(2020年7月14日)	6,897		30	△	2.9	414
90期(2020年8月14日)	7,247		30		5.5	436
91期(2020年9月14日)	7,133		30	△	1.2	429
92期(2020年10月14日)	7,335		30		3.3	438
93期(2020年11月16日)	7,517		30		2.9	440
94期(2020年12月14日)	7,406		30	△	1.1	425

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 組 入 比 率
			騰	落	
第89期	(期 首) 2020年6月15日	円 7,134	% —	% 95.8	
	6 月 末	6,955	△2.5	96.7	
	(期 末) 2020年7月14日	6,927	△2.9	96.5	
第90期	(期 首) 2020年7月14日	6,897	—	96.5	
	7 月 末	7,303	5.9	95.9	
	(期 末) 2020年8月14日	7,277	5.5	97.4	
第91期	(期 首) 2020年8月14日	7,247	—	97.4	
	8 月 末	7,360	1.6	95.6	
	(期 末) 2020年9月14日	7,163	△1.2	96.8	
第92期	(期 首) 2020年9月14日	7,133	—	96.8	
	9 月 末	7,059	△1.0	96.5	
	(期 末) 2020年10月14日	7,365	3.3	95.7	
第93期	(期 首) 2020年10月14日	7,335	—	95.7	
	10 月 末	6,877	△6.2	96.6	
	(期 末) 2020年11月16日	7,547	2.9	98.2	
第94期	(期 首) 2020年11月16日	7,517	—	98.2	
	11 月 末	7,462	△0.7	97.0	
	(期 末) 2020年12月14日	7,436	△1.1	96.4	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

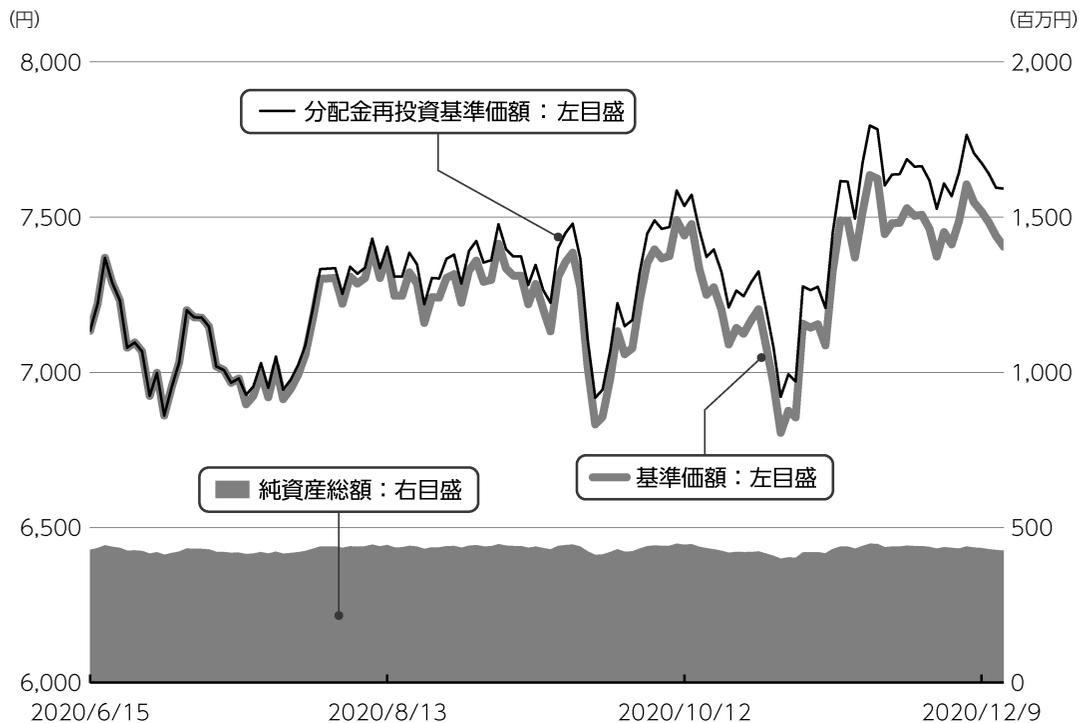
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

運用経過

第89期～第94期：2020年6月16日～2020年12月14日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第89期首	7,134円
第94期末	7,406円
既払分配金	180円
騰落率	6.4%
(分配金再投資ベース)	

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 ※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ6.4% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

保有銘柄 (SIMON PROPERTY GROUP INCなど) が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

第89期～第94期：2020年6月16日～2020年12月14日

投資環境について

▶ 米国リート市況

米国リート市況は、当作成期を通してみると上昇しました。

当作成期首から2020年7月下旬にかけては、新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて投資家心理が悪化したことなどから下落しました。7月末から9月中旬にかけては、一部銘柄の底堅い決算内容や、米連邦準備制度理事会（FRB）が2%を超える物価上昇率を容認するという新方針を発表したことなどを受けて、金融緩和の長期化観測が高まったことなどから上昇しました。

その後、10月は、追加経済支援策の与野

党協議の一進一退の動向に左右される中、新型コロナウイルスの感染拡大のペースが加速したことを受けて下落した一方、11月以降は、米大統領選挙において民主党のバイデン氏の勝利宣言を受けて米大統領選挙への先行き不透明感が和らいだことや、新型コロナウイルスのワクチンの治験に関する良好な結果が相次いで発表されたことなどを受けて、投資家心理が改善したことなどから上昇しました。

結果、当作成期を通してみると上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱UFJ／AMP 米国ハイインカムリートファンド<為替ヘッジあり>（毎月決算型）

AMP 米国ハイインカムリートマザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の不動産投資信託証券を高位に組み入れるとともに、為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図る運用を行いました。

▶ AMP 米国ハイインカムリートマザーファンド

配当利回りに着目した上で、財務の健全性、配当の安定性および成長性、キャッシュフローの成長性などに基づいて組入銘柄を選定しました。リートの組入比率については、当作成期を通じて高位を維持し、普通リートと優先リートの投資割合については、概ね90：10程度の割合で推移しました。足元の投資環境を踏まえ、より分散されたポートフォリオの構築を

めざして銘柄入替を行いました。

組入銘柄数については、当作成期中において銘柄入替を実施し当作成期首は35銘柄程度としておりましたが、当作成期末には40銘柄程度としました。銘柄入替については、今後の業績が懸念される銘柄などを売却し、配当利回りや割安性においてより魅力的な銘柄や、新型コロナウイルスの影響が相対的に小さいとみられる銘柄などを買い付けました。

パフォーマンスに寄与した銘柄は以下の通りです。

上昇銘柄

SIMON PROPERTY GROUP INC（アメリカ）：米国で店舗用不動産などを手掛ける。新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念などはあったものの、2020年11月の新型コロナウイルスワクチンの良好な治験結果の発表や、難航していた同業のトーブマン・センターズの買収が合意され、係争中の訴訟も決着したことなどが好感され、上昇しました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第89期 2020年6月16日～ 2020年7月14日	第90期 2020年7月15日～ 2020年8月14日	第91期 2020年8月15日～ 2020年9月14日	第92期 2020年9月15日～ 2020年10月14日	第93期 2020年10月15日～ 2020年11月16日	第94期 2020年11月17日～ 2020年12月14日
当期分配金 (対基準価額比率)	30 (0.433%)	30 (0.412%)	30 (0.419%)	30 (0.407%)	30 (0.398%)	30 (0.403%)
当期の収益	27	6	－	30	11	－
当期の収益以外	2	24	30	－	18	30
翌期繰越分配対象額	1,190	1,166	1,136	1,152	1,134	1,104

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶三菱UFJ／AMP 米国ハイインカムリートファンド＜為替ヘッジあり＞（毎月決算型）

マザーファンドへの投資を通じて、米国の不動産投資信託証券を高位に組み入れ、値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざすほか、為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図る運用を行います。

▶AMP 米国ハイインカムリートマザーファンド

新型コロナウイルスの収束までの期間および状況が不透明なことの影響などにより、短期的には値動きの大きい展開が継続すると考えており、新型コロナウイルスの影響を直接的に受けるセクターの組

入比率を抑え、市況動向に左右されにくい銘柄を選別して投資を行います。より短期的には、テナント誘致には時間を要すると考えられるため、流動資金を確保している銘柄などを選好します。ポートフォリオについては内部成長が期待できるREITや買収や開発を通じて外部成長が期待できるREIT、優れた経営陣を擁するREITに注目した運用を行います。

当ファンドの運用につきましては、バランスがとれ、分散されたポートフォリオの構築、維持を通し、中長期的な信託財産の成長をめざした運用を行っていく方針です。

2020年6月16日～2020年12月14日

1万口当たりの費用明細

項目	第89期～第94期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	61	0.849	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(34)	(0.477)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(24)	(0.329)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.044)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.028	(b) 売買委託手数料 = 作成期中の売買委託手数料 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（投資信託証券）	(2)	(0.028)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = 作成期中の有価証券取引税 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.032	(d) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.028)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	65	0.909	

作成期中の平均基準価額は、7,233円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してありません。

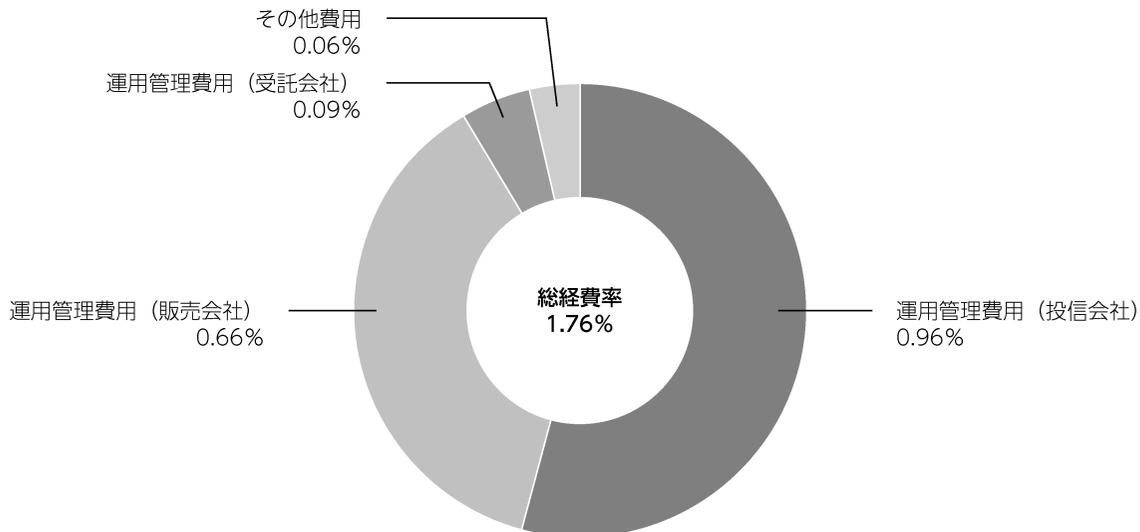
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.76%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年6月16日～2020年12月14日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第89期～第94期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
AMP 米国ハイインカムリートマザーファンド	千口 12,599	千円 19,100	千口 24,909	千円 38,900

○利害関係人との取引状況等

(2020年6月16日～2020年12月14日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ/AMP 米国ハイインカムリートファンド<為替ヘッジあり> (毎月決算型) >

区分	第89期～第94期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替先物取引	百万円 2,699	百万円 99	% 3.7	百万円 2,715	百万円 115	% 4.2

<AMP 米国ハイインカムリートマザーファンド>

区分	第89期～第94期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 16	百万円 4	% 25.0	百万円 110	百万円 50	% 45.5

平均保有割合 50.5%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2020年12月14日現在)

親投資信託残高

銘柄	柄	第88期末		第94期末	
		口数	千口	口数	評価額
AMP 米国ハイインカムリートマザーファンド		276,209	千口	263,899	千円 416,829

○投資信託財産の構成

(2020年12月14日現在)

項目	第94期末	
	評価額	比率
AMP 米国ハイインカムリートマザーファンド	千円 416,829	% 96.8
コール・ローン等、その他	13,947	3.2
投資信託財産総額	430,776	100.0

(注) AMP 米国ハイインカムリートマザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(808,589千円)の投資信託財産総額(812,750千円)に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=104.04円			
-----------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第89期末	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末
	2020年7月14日現在	2020年8月14日現在	2020年9月14日現在	2020年10月14日現在	2020年11月16日現在	2020年12月14日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	818,381,328	860,928,805	847,913,428	859,773,893	873,373,221	843,291,224
コール・ローン等	12,138,397	16,476,284	11,421,395	16,527,022	11,360,164	13,637,871
AMP 種ハイインカムリートマザーファンド(詳欄)	404,634,535	428,759,960	419,674,891	425,556,281	436,953,241	416,829,822
未収入金	401,608,396	415,692,561	416,817,142	417,690,590	425,059,816	412,823,531
(B) 負債	403,776,592	424,796,463	418,127,541	421,575,792	432,687,818	417,377,851
未払金	401,394,240	422,367,912	415,683,400	419,173,704	430,277,856	415,079,700
未払収益分配金	1,803,486	1,805,553	1,807,610	1,792,256	1,758,749	1,725,360
未払解約金	-	-	-	-	150	2
未払信託報酬	577,529	621,554	635,048	608,424	649,558	571,462
未払利息	6	11	20	7	8	10
その他未払費用	1,331	1,433	1,463	1,401	1,497	1,317
(C) 純資産総額(A-B)	414,604,736	436,132,342	429,785,887	438,198,101	440,685,403	425,913,373
元本	601,162,201	601,851,223	602,536,929	597,418,895	586,249,858	575,120,100
次期繰越損益金	△186,557,465	△165,718,881	△172,751,042	△159,220,794	△145,564,455	△149,206,727
(D) 受益権総口数	601,162,201口	601,851,223口	602,536,929口	597,418,895口	586,249,858口	575,120,100口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,897円	7,247円	7,133円	7,335円	7,517円	7,406円

○損益の状況

項 目	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
	2020年6月16日～ 2020年7月14日	2020年7月15日～ 2020年8月14日	2020年8月15日～ 2020年9月14日	2020年9月15日～ 2020年10月14日	2020年10月15日～ 2020年11月16日	2020年11月17日～ 2020年12月14日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 376	△ 240	△ 494	△ 178	△ 179	△ 155
受取利息	26	3	1	—	—	3
支払利息	△ 402	△ 243	△ 495	△ 178	△ 179	△ 158
(B) 有価証券売買損益	△ 11,900,808	23,486,862	△ 4,398,919	14,465,044	13,101,965	△ 4,107,395
売買益	1,837,783	30,481,915	7,799,922	17,261,222	19,241,546	2,961,369
売買損	△ 13,738,591	△ 6,995,053	△ 12,198,841	△ 2,796,178	△ 6,139,581	△ 7,068,764
(C) 信託報酬等	△ 578,860	△ 628,927	△ 636,511	△ 609,825	△ 651,055	△ 572,779
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 12,480,044	22,857,695	△ 5,035,924	13,855,041	12,450,731	△ 4,680,329
(E) 前期繰越損益金	△ 139,748,028	△ 153,911,291	△ 131,414,686	△ 135,140,558	△ 120,507,364	△ 107,500,930
(F) 追加信託差損益金	△ 32,525,907	△ 32,859,732	△ 34,492,822	△ 36,143,021	△ 35,749,073	△ 35,300,108
(配当等相当額)	(71,653,655)	(71,617,654)	(70,253,373)	(67,864,956)	(66,600,879)	(65,222,349)
(売買損益相当額)	(△104,179,562)	(△104,477,386)	(△104,746,195)	(△104,007,977)	(△102,349,952)	(△100,522,457)
(G) 計(D+E+F)	△ 184,753,979	△ 163,913,328	△ 170,943,432	△ 157,428,538	△ 143,805,706	△ 147,481,367
(H) 収益分配金	△ 1,803,486	△ 1,805,553	△ 1,807,610	△ 1,792,256	△ 1,758,749	△ 1,725,360
次期繰越損益金(G+H)	△ 186,557,465	△ 165,718,881	△ 172,751,042	△ 159,220,794	△ 145,564,455	△ 149,206,727
追加信託差損益金	△ 32,646,139	△ 34,304,175	△ 36,300,432	△ 36,143,021	△ 35,866,323	△ 37,025,468
(配当等相当額)	(71,535,631)	(70,173,374)	(68,446,326)	(67,867,493)	(66,484,487)	(63,497,137)
(売買損益相当額)	(△104,181,770)	(△104,477,549)	(△104,746,758)	(△104,010,514)	(△102,350,810)	(△100,522,605)
分配準備積立金	25,023	35,121	35,121	1,012,986	53,314	52,246
繰越損益金	△ 153,936,349	△ 131,449,827	△ 136,485,731	△ 124,090,759	△ 109,751,446	△ 112,233,505

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首(前作成期末)元本額 600,385,355円
 作成期中追加設定元本額 4,798,066円
 作成期中一部解約元本額 30,063,321円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.7406円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は149,206,727円です。

③分配金の計算過程

項 目	2020年6月16日～ 2020年7月14日	2020年7月15日～ 2020年8月14日	2020年8月15日～ 2020年9月14日	2020年9月15日～ 2020年10月14日	2020年10月15日～ 2020年11月16日	2020年11月17日～ 2020年12月14日
費用控除後の配当等収益額	1,666,359円	371,208円	—円	2,770,459円	702,981円	—円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	71,655,863円	71,617,817円	70,253,936円	67,867,493円	66,601,737円	65,222,497円
分配準備積立金額	41,918円	25,023円	35,121円	34,783円	991,832円	52,246円
当ファンドの分配対象収益額	73,364,140円	72,014,048円	70,289,057円	70,672,735円	68,296,550円	65,274,743円
1万口当たり収益分配対象額	1,220円	1,196円	1,166円	1,182円	1,164円	1,134円
1万口当たり分配金額	30円	30円	30円	30円	30円	30円
収益分配金総額	1,803,486円	1,805,553円	1,807,610円	1,792,256円	1,758,749円	1,725,360円

④「AMP 米国ハイインカムリートマザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の44以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○分配金のお知らせ

	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
1 万口当たり分配金 (税込み)	30円	30円	30円	30円	30円	30円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

* 三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

AMP 米国ハイインカムリートマザーファンド

《第8期》決算日2020年12月14日

[計算期間：2019年12月17日～2020年12月14日]

「AMP 米国ハイインカムリートマザーファンド」は、12月14日に第8期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第8期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	米国の不動産投資信託証券に投資を行い、値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざします。 不動産投資信託証券への投資にあたっては、人口動態分析、マクロ経済分析等のトップダウン・アプローチと、個別銘柄の割安度や保有資産・業績の分析および資本構造や経営の質等の分析によるボトムアップ・アプローチを併用し、銘柄選定を行います。 不動産投資信託証券等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
主要運用対象	米国の不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		投資信託証券比率	純資産総額
		期騰落	中率		
	円		%	%	百万円
4期(2016年12月14日)	16,578		10.4	97.9	3,355
5期(2017年12月14日)	16,492	△	0.5	92.4	2,063
6期(2018年12月14日)	16,812		1.9	97.8	1,476
7期(2019年12月16日)	18,757		11.6	99.0	1,268
8期(2020年12月14日)	15,795	△	15.8	98.5	810

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 券 率
				騰	落	
	(期 首)		円		%	%
	2019年12月16日		18,757		—	99.0
	12月末		19,001		1.3	98.7
	2020年1月末		19,061		1.6	98.8
	2月末		17,542		△ 6.5	96.0
	3月末		13,551		△27.8	97.1
	4月末		14,385		△23.3	93.8
	5月末		14,642		△21.9	97.6
	6月末		14,810		△21.0	98.6
	7月末		15,223		△18.8	98.2
	8月末		15,547		△17.1	99.0
	9月末		15,048		△19.8	98.6
	10月末		14,573		△22.3	98.6
	11月末		15,813		△15.7	98.6
	(期 末)					
	2020年12月14日		15,795		△15.8	98.5

(注) 騰落率は期首比。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ15.8%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の変動要因

(下落要因)

保有銘柄 (EPR PROPERTIESなど) が下落したことや、米ドルが対円で下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎米国リート市況

・米国リート市況は、当期を通してみると下落しました。

2020年2月中旬から3月下旬にかけて、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、世界経済の減速懸念が高まり、金融市場への不透明感が強まる中、景気感応度の高いホテル・リゾートや店舗用リートを中心に大きく下落しました。

その後は、新型コロナウイルスの感染状況に左右されながらも、米連邦準備制度理事会 (FRB) による金融緩和策や米政府による大規模財政政

策に加え、新型コロナウイルスのワクチン開発及び、一部地域での接種開始などを受けて、世界経済の正常化期待などを背景に投資家心理が改善したことなどから上昇したものの、当期を通してみると下落しました。

◎為替市況

・為替市況は、期首に比べ、4.9%の円高・米ドル安となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・配当利回りに着目した上で、財務の健全性、配当の安定性および成長性、キャッシュフローの成長性などに基づいて組入銘柄を選定しました。リートの組入比率については、当期を通じて高位を維持しました。足元の投資環境を踏まえ、より分散されたポートフォリオの構築をめざして銘柄入替を行い、優先リートの比率を引き下げました。
- ・組入銘柄数については、期中において銘柄入替を実施し期首は30銘柄程度としておりましたが、期末には40銘柄程度としました。銘柄入替については、今後の業績が懸念される銘柄などを売却し、配当利回りや割安性においてより魅力的な銘柄や、新型コロナウイルスの影響が相対的に小さいとみられる銘柄などを買い付けました。
- ・パフォーマンスに影響した銘柄は以下の通りです。

(下落銘柄)

- ・EPR PROPERTIES (アメリカ): 米国やカナダでエンターテインメント関連企業向けのリースを手掛け、多様な娯楽施設を保有。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、業績成長に対する不透明感が高まったことなどから下落しました。また、当銘柄は期中に全売却を行いました。

○今後の運用方針

- ・新型コロナウイルスの収束までの期間および状況が不透明なことの影響などにより、短期的には値動きの大きい展開が継続すると考えており、新型コロナウイルスの影響を直接的に受けるセクターの組入比率を抑え、市況動向に左右されにくい銘柄を選別して投資を行います。より短期的には、テナント誘致には時間を要すると考えられるため、流動資金を確保している銘柄などを選好します。ポートフォリオについては内部成長が期待できるREITや買収や開発を通じて外部成長が期待できるREIT、優れた経営陣を擁するREITに注目した運用を行います。
- ・当ファンドの運用につきましては、バランスがとれ、分散されたポートフォリオの構築、維持を通し、中長期的な信託財産の成長をめざした運用を行っていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年12月17日～2020年12月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 34 (34)	% 0.216 (0.216)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.002 (0.002)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	9 (8) (0)	0.054 (0.054) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	43	0.272	
期中の平均基準価額は、15,738円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年12月17日～2020年12月14日)

投資信託証券

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
アメリカ	千口	千アメリカドル	千口	千アメリカドル
HEALTHPEAK PROPERTIES INC	9	215	0.024	0.68686
MACERICH CO/THE	—	—	5	39
AGREE REALTY CORP	1	98	1	79
ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUIT	1	301	0.277	40
PROLOGIS INC	3	273	1	142
CAMDEN PROPERTY TRUST	—	—	0.438	40
DIGITAL REALTY TRUST INC	1	143	0.778	113
EPR PROPERTIES	—	—	6	140
FEDERAL REALTY INVS TRUST	2	162	0.221	19
FIRST INDUSTRIAL REALTY TR	3	103	0.985	34
WELLTOWER INC	2	140	3	254
HIGHWOODS PROPERTIES INC	3	118	—	—
KILROY REALTY CORP	1	92	—	—
LEXINGTON REALTY TRUST	0.46	4	27	247
BOSTON PROPERTIES INC	3	266	0.682	67
MID-AMERICA APARTMENT COMM	1	154	0.106	13
OMEGA HEALTHCARE INVESTORS	—	—	10	355
PENN REAL ESTATE INVEST TST	—	—	75	193
SL GREEN REALTY CORP	3	158	1	61
SUN COMMUNITIES INC	0.438	63	2	272
CUBESMART	6	160	10	253
UDR INC	6	227	0.722	28
WEINGARTEN REALTY INVESTORS	7	100	3	60
DOUGLAS EMMETT INC	5	160	5	141
RLJ LODGING TRUST	—	—	26	220
AMERICAN TOWER CORP	0.503	113	0.306	74
STAG INDUSTRIAL INC	0.327	8	7	194
SABRA HEALTH CARE REIT INC	—	—	19	257
HEALTHCARE TRUST OF AME-CL A	7	190	0.1	2
WP CAREY INC	3	234	—	—
RYMAN HOSPITALITY PROPERTIES	0.321	12	2	78
SPIRIT REALTY CAPITAL INC	4	129	0.87	34
VEREIT INC	1	8	30	172
INDEPENDENCE REALTY TRUST IN	7	86	0.511	6
STORE CAPITAL CORP	—	—	11	197
EQUINIX INC	0.913	521	0.27	192
WASHINGTON PRIME GROUP PFD-H	—	—	36	613
APPLE HOSPITALITY REIT INC	—	—	26	246
PENN REAL ESTATE INVEST PFD-D	—	—	23	373
PUBLIC STORAGE PFD-G	—	—	23	613

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外 国	アメリカ	千口	千アメリカドル	千口	千アメリカドル
	AMERICAN HOMES 4 RENT PFD-G	0.146	3	4	103
	SITE CENTERS CORP PFD-A	—	—	2	61
	SUNSTONE HOTEL INVESTORS PFD-E	—	—	3	81
	EQUITY RESIDENTIAL	6	339	1	59
	INVITATION HOMES INC	10	256	3	106
	VICI PROPERTIES INC	3	69	6	132
	AMERICOLD REALTY TRUST	7	229	4	144
	ESSENTIAL PROPERTIES REALTY	8	98	3	60
	BROADSTONE NET LEASE INC-A	2	37	—	—
	PUBLIC STORAGE	1	329	0.94	201
	MONMOUTH REIT PFD-C	0.126	3	15	378
	SPIRIT REALTY CAPITAL IN PFD-A	0.201	5	14	346
	SIMON PROPERTY GROUP INC	2	153	1	136
AVALONBAY COMMUNITIES INC	—	—	2	323	
小計	136	5,780	433	8,019	

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2019年12月17日～2020年12月14日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2020年12月14日現在)

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	千口	千口	千アメリカドル	千円	%
HEALTHPEAK PROPERTIES INC	—	9	272	28,394	3.5
MACERICH CO/THE	5	—	—	—	—
AGREE REALTY CORP	—	0.3	19	2,042	0.3
ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUIT	—	1	296	30,865	3.8
PROLOGIS INC	4	6	674	70,162	8.7
CAMDEN PROPERTY TRUST	2	1	159	16,552	2.0
DIGITAL REALTY TRUST INC	2	2	325	33,896	4.2
EPR PROPERTIES	6	—	—	—	—
FEDERAL REALTY INVS TRUST	—	2	192	20,005	2.5
FIRST INDUSTRIAL REALTY TR	—	2	105	10,950	1.4
WELLTOWER INC	4	4	281	29,285	3.6
HIGHWOODS PROPERTIES INC	—	3	125	13,088	1.6
KILROY REALTY CORP	—	1	94	9,876	1.2
LEXINGTON REALTY TRUST	40	12	138	14,364	1.8
BOSTON PROPERTIES INC	—	2	251	26,202	3.2
MID-AMERICA APARTMENT COMM	—	1	168	17,480	2.2
OMEGA HEALTHCARE INVESTORS	10	—	—	—	—
PENN REAL ESTATE INVEST TST	75	—	—	—	—
SL GREEN REALTY CORP	—	1	104	10,880	1.3
SUN COMMUNITIES INC	3	1	212	22,100	2.7
CUBESMART	9	5	173	18,033	2.2
UDR INC	—	5	225	23,487	2.9
WEINGARTEN REALTY INVESTORS	—	3	83	8,657	1.1
DOUGLAS EMMETT INC	5	5	167	17,430	2.2
RLJ LODGING TRUST	26	—	—	—	—
AMERICAN TOWER CORP	—	0.197	43	4,505	0.6
STAG INDUSTRIAL INC	13	6	185	19,248	2.4
SABRA HEALTH CARE REIT INC	19	—	—	—	—
HEALTHCARE TRUST OF AME-CL A	—	7	204	21,291	2.6
WP CAREY INC	—	3	236	24,616	3.0
RYMAN HOSPITALITY PROPERTIES	2	—	—	—	—
SPIRIT REALTY CAPITAL INC	—	4	161	16,792	2.1
VEREIT INC	49	20	156	16,287	2.0
INDEPENDENCE REALTY TRUST IN	—	7	97	10,162	1.3
STORE CAPITAL CORP	11	—	—	—	—
EQUINIX INC	—	0.643	442	46,083	5.7
WASHINGTON PRIME GROUP PFD-H	36	—	—	—	—
APPLE HOSPITALITY REIT INC	26	—	—	—	—
PENN REAL ESTATE INVEST PFD-D	23	—	—	—	—
PUBLIC STORAGE PFD-G	23	—	—	—	—

銘柄	期首(前期末)		当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	千口	千口	千アメリカドル	千円	%	
AMERICAN HOMES 4 RENT PFD-G	9	5	135	14,083	1.7	
SITE CENTERS CORP PFD-A	2	—	—	—	—	
SUNSTONE HOTEL INVESTORS PFD-E	9	5	140	14,611	1.8	
EQUITY RESIDENTIAL	—	5	295	30,783	3.8	
INVITATION HOMES INC	—	6	199	20,741	2.6	
VICI PROPERTIES INC	12	8	229	23,857	2.9	
AMERICOLD REALTY TRUST	—	3	108	11,302	1.4	
ESSENTIAL PROPERTIES REALTY	—	5	105	10,935	1.3	
BROADSTONE NET LEASE INC-A	—	2	42	4,400	0.5	
PUBLIC STORAGE	—	0.883	194	20,216	2.5	
MONMOUTH REIT PFD-C	23	7	197	20,514	2.5	
SPIRIT REALTY CAPITAL IN PFD-A	19	5	156	16,287	2.0	
SIMON PROPERTY GROUP INC	2	3	268	27,929	3.4	
AVALONBAY COMMUNITIES INC	2	—	—	—	—	
合 計	口 数 ・ 金 額	483	186	7,674	798,410	
	銘柄 数 < 比 率 >	30	40	—	<98.5%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率および合計欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2020年12月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 798,410	% 98.2
コール・ローン等、その他	14,340	1.8
投資信託財産総額	812,750	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(808,589千円)の投資信託財産総額(812,750千円)に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=104.04円		
------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年12月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	812,750,766
コール・ローン等	4,594,195
投資証券(評価額)	798,410,272
未収入金	9,347,270
未収配当金	399,029
(B) 負債	2,220,003
未払解約金	2,220,000
未払利息	3
(C) 純資産総額(A-B)	810,530,763
元本	513,154,550
次期繰越損益金	297,376,213
(D) 受益権総口数	513,154,550口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,795円

<注記事項>

- ①期首元本額 676,168,720円
 期中追加設定元本額 58,828,901円
 期中一部解約元本額 221,843,071円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.5795円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ/AMP 米国ハイインカムリートファンド<為替ヘッジあり>(毎月決算型)	263,899,856円
三菱UFJ/AMP 米国ハイインカムリートファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	249,254,694円
合計	513,154,550円

○損益の状況 (2019年12月17日~2020年12月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	36,272,558
受取配当金	36,260,265
受取利息	14,219
支払利息	△ 1,926
(B) 有価証券売買損益	△213,140,684
売買益	122,576,364
売買損	△335,717,048
(C) 保管費用等	△ 492,137
(D) 当期損益金(A+B+C)	△177,360,263
(E) 前期繰越損益金	592,152,306
(F) 追加信託差損益金	33,561,099
(G) 解約差損益金	△150,976,929
(H) 計(D+E+F+G)	297,376,213
次期繰越損益金(H)	297,376,213

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。